

全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

http://www.shijuku.net

第29号(平成22年2月号)



Photo by Joh Tadamichi

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 石川 維雪

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷5-32-31 学燈塾内

TEL:03-6680-6542 FAX:03-6368-5489

Mail:center-office@shijuku.net

理 事 長 鈴木 正之 TeL03-5743-7458 広報部長 大住 明敬 TeL048-957-8608



私塾ネット東北・ '09年教育イベント報告 「不登校フォーラム」「高校入試説明会Part①②]



エリア東北 代表 畑山 篤 (青森・志学塾)

最近、ゆとり教育世代の「やる気」の質 が怪しくなってきたように感じます。行 ■動する、しないの基準は「面倒くさい」

かどうか。キレル、グレル、むかつくことまで「面倒 くさい」らしい。安全・安心・便利な生活様式が、子 どもたちの「やる気」をむしばんでいるのではないで しょうか。そして、お手伝いやお駄賃のチャンスに恵 まれない子どもたちは、いかに時間を作るかの段取り も経験せずに育っているように私には思われます。ど うにかして合理的に手を抜き褒められるか…こんな親 の世代なら当たり前に考える「工夫」や「やりくり」 も、この頃の子どもの達には「面倒くさい」ことかも しれません。ゆとり教育世代の子育ては、学校教育、 家庭教育の枠を越えて地域教育として取り組む時期に 来たと考えています。

そこで、私塾ネット東北では昨年末、青森県八戸市 に於いて、教育イベントを3日間行いました。そのう ち2日間に「子どものやる気、親の気づき座談会」と いう新しい試みを挟んでみました。アンケートには、 もっと早い時期に聞きたかった、学校でもこのような 企画をやってくれればいいのだが…等々概ね好評でし た。以下、時系列でご報告します。

●「'09不登校フォーラムin八戸」

<期日>11月28日(土)13時~16時半 <会場>八戸市ショッピングセンターラピア2F <内容>小中高の不登校と学習進学を中心に、ご家庭

登校そしてニートへの対 応の一層の充実につい て、第1部は「公開討論 会」、第2部は「個別相 談会」を行いました。 <パネリスト・相談員> 元公立小中学校長・元こ ころの教室相談員の関根 清正先生、日本航空高校 通信制課程副校長の清水 宝文先生と志学塾塾長畑 山篤の3人。今年は、不 登校でお悩みの24人の ご父母の相談に対応しま した。



●「最新!高校入試説明会in八戸]PART1

<期日>11月29日(日)13時~16時半 <会場>八戸市ショッピングセンターラピア2F



開会式の挨拶に立つ畑山代表

<内容>第1部は「子どものやる気、親の気づき座談 会」。ゲスト講師に衆議院議員田名部匡代さんを招 き、私塾ネット事務局長 石川維雪先生が、子ども手当 など家庭教育に関わる政策など地元代議士の本音に迫 りました。

第2部は「有名私立中高進学説明会」。宮城県、山梨 県、高知県など県外から6校、八戸市内4校が参加し ました。

第3部は「県立高校入試説明会」、同時並行で「ジュ ニア英語体験学習会」も行われました。今年は、1~ 3部を通して121人の参加でした。



●「最新!高校入試説明会in八戸」PART2

<期日>12月12日(土)17時~19時 <会場>八戸市 志学塾ゆりの木通り教室/特設会 場 <内容>第1部は「子どものやる気、親の気づ き座談会」ゲスト講師に八戸聖ウルスラ学院中高学 校長 中村敬子先生、函館ラ・サール中高副校長 井 上治先生、参議院議員大島九州男先生をお招きし て、私塾ネット東北代表 畑山篤の進行で、まず自 己紹介を兼ねて「成功者の失敗談」をお話し頂き、

についてお話し頂きました。

第2部は、飛び込み大歓迎の中学生による英文しゃべりまくりコンテスト「英語ペラペラ道場 道場破り大会」を行いました。 1 , 2 部通しで参加者 6 4 人でした。

●これに先立ち、井上治先生、大島九州男先生には、青森放送ラジオの 番組に打ち合わせなしの生出演で、イベントの告知をして頂きました。

校入試説明会in八戸







平成23年度全国塾長・教職員研修会(4月24日~26日) エリア東北・青森県八戸市開催に向けて

研修部長・田中 宏道 (ラピス鎌ヶ谷) 昨年の全国研修会で話題にあがっておりましたエリア 開催。それも四国エリアの先生方のたっての希望で東 北エリア開催を探ってまいりました。昨年、東北エリ ア代表八戸志学塾の畑山先生のところに、関東代表の 仲野先生と田中がご相談にうかがい、

素案ができましたのでご報告いたします。

テーマ

- ・ 私塾ネット東北エリアを全国塾人が応援する!
- ・「塾人と地域の幸せ」を求め、東北の温泉で「塾」を語り、「塾」を聴く!

前夜祭 4月24日(土)

・八戸 志学塾 灘高校に毎年40名以上を入学させたあの入江塾の再現か? 内的モチベーションを高める「1:30の個別指

導」「OK!学習法」の実際を習得!「OK!学習法初級入門編3級認定講座」検定費用3000円

- ・昼食 八食センターにて七輪魚三昧 もしくは、岬の突端の食堂にて魚三昧
- ・夕食 屋台村みろく横町にて「せんべい汁」など 八戸を食べる。呑む(ご希望により明け方まで)

本祭 4月25日(日)午後

- ・八戸 安藤昌益記念館、羽仁進記念館、寺山修司 記念館あたりにて東北を応援する研修会
- ・アイスブレーク
- ·前座 田中宏道(全国模擬授業大会 第2回、 第4回 最優秀賞受賞) 模擬授業10分
- ・畑山篤先生「1:30の個別指導」 宮城、壱岐 島、高知、横浜にも広がる「OK!学習法」 志学塾はあの入江塾の再現か? 内的モチベー ションを高める「OK!学習法」を語る!
- ・木下晴弘先生 東北の塾人、塾スタッフを勇気づ

けるご講演もしくは・藤原和博先生 前和田中校長 「世のなか科」創始者テーマ「正解よりも納得解を 出す人間の育成~繋げる。繋がる。~」

(木下先生、藤原先生につきましては予算の問題も ありますので検討中です。)

後夜祭

- ・青森県内の温泉旅館にて(古牧温泉の予定)「塾人と地域の幸せ」を求め、「塾」を語り、「塾」を聴く!
- ・ご参加のみなさまからご報告 「2009年度を振り返る&2010年度に思うこと」

祭りのあと 4月26日(月)

- ・青森をご堪能ください。三内丸山遺跡、十和田湖、奥入瀬渓谷、恐山種差海岸、棟方志功記念館、太宰治記念館 太平洋を真横に走るローカル線の旅白神山地
- ・東京→八戸 新幹線で3時間
- ・東京→三沢→八戸 飛行機とバスで2時間15分
- ・大阪(伊丹) →三沢→八戸 飛行機とバスで2時間35分
- ·研修会費 検討中!

全国の私塾ネットのみなさま! 4月に八戸でお会いしましょう!



仲野、田中、畑山の3人がご接待申し上げます



エリア関果 代表 仲野十和出 (東京・ナカジュク)

ただ今、入試真っ盛り。

今年は、東京の高校受験生の人数が 増えることが予想されていましたの で、数年前から厳しさを覚悟してい

たのですが、都が暫定的に定員を増やす対策を行い、結局倍率は平年並みに落ち着きそうです。高校側は1クラス増やす準備に追われて大変そうですが。

ただ、この暫定的といわれている措置はどうも 緩やかに継続するとも…。というのは、ある調査 で数年後の東京及びその近郊の人口が増加する傾 向が予測されています。ちなみに埼玉県の高校受 験者は前年度より約7000人増です。私の住ん でいるところは、埼玉県越谷市というところです が、東西へ車で十数分の距離のところに巨大なイ オンショッピングモールが2つ立て続けに出来ま した。1昨年にできたレイクタウンなどは、端か ら端まで徒歩20分かかるほどの大きさです。と ころが良く観察してみると、買い物袋を持ってい る人は余りいないんですね。周りには、2万人規 模の町が出来る準備がされていますが、住宅の売 れ行きは良くないようです。余談ついでに、私は 東京都板橋区出身ですが、現在は上記の場所に居 住しています。距離的には約18 元(夜は車で3 0分くらい)です。これで駐車場の値段がいくら 違うと思いますか?板橋は3万円、越谷が5千円 です。東京近郊地域の人口が増える要因が少し垣 間見られたかと思いますが、東京もデフレの影響 か?土地や家賃がかなり下がってきている傾向で す。新宿のオフィスビルでは、半年間家賃タダ! というところまで出てきているようです。

さて、先日八戸でエリア東北代表の畑山篤先生のお会いしたとき、「こちらの進学校を出て東京の大学へ行くと帰って来ない」と言われていました。地方の過疎化が構造的に進んでいくようです。1世帯平均所得が約300万円。中3生の通塾率が3割以下。そんな場所で元気に(本当に元気なんですよ!)、独自の学習法(OK!学習法)を全国に発信され、一方で不登校の子と真剣に向き合った教育を実践されている畑山塾(志学塾)は、私にとっては、魅力満載でした。

4月25日(日)、私塾ネット初の地方全国研修大会が八戸で行われます。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



エリア中部 代表 松本 紀行 (長野・チャレンジ学院)

石川先生、ご苦労様でした。信州 の秘湯、仙仁温泉に寒い中お越し下 さって感謝しております。雪も舞っ て、結構寒かったんじゃないかと思

います。12月13日恒例の"湯けむりの会"で楽しい一時を過ごさせていただきました。一年間予約で一杯になる人気の宿で、幹事の三松先生はさぞ大変だったことだと思います。地元の方は従業員の温かい接待が人気の理由だと仰っていますが、まさにその通りで、私たちサービス業である塾も見習わなければならない点が多々ありました。吊り橋のある宿、皆さんもぜひ一度来てほしいなあ~と。

今回は原先生の新居が話題となったんですが、さ すがに建物や部屋を見る目が鋭かったですね。旅 館の施設の中には、結構私たちが活用できるもの も多く、今回この温泉の露天風呂の作り方、離れ の喫茶室は、いつの日か、"霧ヶ峰林間学校"の 中にぜひ取り入れてみたいなあと思っています。 最近私は教育環境面を整備しなくちゃあいけない とつくづく感じています。この紙面をお借りして 少々ご紹介させていただきますが、新年度を迎え るにあたって、中信地区に本部を設立する予定で 東奔西走しております。駅前に、6階建てのビル で、外壁、内装、モデルルーム等何かおもしろい 物を作りたいと思っています。この温泉で拝見し た喫茶室の雰囲気をそのまま持ち込めたら、ご父 兄は感動しそうだなあ、などと空想しながら進め て居ります。

話を戻しますと、この温泉はもう一つ名物があって、その名も「洞窟風呂」といいます。字の如く山をくり抜いて、その中が温泉になっているというものです。昔長野県の会議があった時には、30mくらい長い洞窟で、結構アドベンチャー気分を味わったものです。信州にはまだまだ沢山の温泉があるので、仲間の皆さんと楽しみに行きたいと考えています。

ところでこの時期は、塾の大きな仕事として、中3から高1への進級問題が塾存続の大きな鍵になると思われます。進級率が高いほど外部生に頼らなくてもよいと、どの塾さんも苦慮されているところでしょう。2、3日前のことですが、勢いのよい関東のM塾さんでは、30%前後の進級率ということでした。最近では、全国平均が40%くらいになってきているとも耳にしております。私どももここ3年間くらいこの問題に挑戦して、やっと昨年40%を越える事ができました。本当にあの手この手を使わないと難しいのが実情です。

今年度は威勢よく70%目標を掲げ挑戦中です。万一達成したらそのノウハウをお知らせできると思っています。最後になりましたが、新学期に向かって、皆様が元気よく塾経営されることを心から願っております。



エリア中国 代表 北川 健治 (広島・栄光プレップ)

全国の皆さん、生徒募集、受験の総 決算の時期、ご苦労様です。私塾ネッ ト中国は今年も元気です。今年もよろ しくお願いいたします。さて、早速の

ご報告となりますが、私ども中国エリアは、1月14日木曜日、広島ホテルニューヒロデンで、予定通り、定例会、新春昼食会を開催いたしました。出席者は、山口恭、城、佐藤、上原、吉長、林、北川、田中達、河浜、西本、西川、田中弘の12名でありました。

最初に、全会からの懸案事項でありましたエリアの規約・細則を討議、機関決定いたしました。「癒しとくつろぎと情報交換」をスローガンにして全国私塾連盟広島支部より古きに渡って、阿吽の呼吸で運営してきましたが規約と細則が決定されたことで、それぞれのメンバーが全国に発信できる体制が整いました。次回、新しいエリア代表が決定いたしますが文字通り新しい船出ができそうです。多くの地方の任意団体の抱えている協会、他団体との外交関係との交通整理ができるものと思われます。

引き続いて本年度社団法人全国学習塾協会主催の中国四国支部研修会について広島支部幹事長の西本 先生からの企画趣意についてプレゼンテーションが 行われました。広島地区でこの塾のイベントを5月 に開催することとなり、早速、福山私塾連盟、広島 私塾連盟との合同後援も決定いたしました。

次に冬期講習会の経営、運営状況が各塾リレー形式で発表がありました。各塾からの成功、失敗事例はそのまま、各塾の適正、死守ラインの目標設定に直結する種類のものが多く熱心に質疑応答が交わされました。続いて新春昼食会でありましたが、どこまでが定例会でどこからが昼食会かわからないくらいに盛り上がりました。(変な話、これは毎年のことで、ああこれで今年も、無事、スタートが切れるのだなと思います。)



11月に実施した忘年会研修会の記念写真。会場のグランドプリンスホテル広島(宇品)は瀬戸内海を一望する絶景のロケーション。



エリア四国 代表 寺嶋 謙次 (香川・学習院セミナー)

広報第28号の続きになりますが、 昨年末に前回お話した中学とは別の 公立中学を訪問しました。今回はこ ちら側からの一方的な講演ではな

く、ディスカッション形式で中学2年生の生徒およ び保護者と話しをしてきました。予定は前回訪れ た中学と同じように学校給食を食べて講演という 順序だったのですが、そこの中学では給食と5時 間目の間に掃除の時間が設けられていて、中学の 校長先生から「ぜひ、子供たちが掃除をしている 姿を見学してください。」との案内で掃除の見学 をしました。びっくりです。全生徒が片手にぞう きん、もう一方の手にたわしを持って。額から汗 を流しながら廊下を磨いていたのです。さらに驚 かされたのは、トイレ掃除をしていた男子生徒で す。廊下を掃除していた生徒たちと同じように手 袋もせずに素手でたわしを持って便器を一生懸命 磨いていたのです。ほとんどの生徒が一生懸命掃 除に取り組めるように指導が行き届いているのに は感心させられました。

追記

私塾ネット四国では次年度へ向けての打ち合わせ会、および役員会を二月七日(日)10時30分より湯口塾研修センターにて開催いたします。いつもは三月に実施していましたが、その時期はみなさん忙しい方が多いので今年は少し早めにしました。

また今年は役員のみならず参加できる方々は是 非参加していただいて、ゆっくりみなさんとお話 できたらと考えています。

議事内容

- 1、本年度事業報告と収支報告
- 2、次年度事業計画案および予算案
- 3、私塾ネットセンター総会および研修会の件
- 4、役員改定
- 5、その他
- 6、これからの塾運営について みんなでお話とアドバイス



日没の瀬戸内海を背景に「ムチャチョス」のプチコンサートも行われ、ちょっとおしゃれなひと時を堪能した。

理事長活動日誌

理事長 鈴木正之

平成21年11月15日、大井町から教育を考える会(OKK)主催「私立中学高等学校相談会」が開催された。この相談会は私塾ネット関東が協賛している。当日懇親会には、谷村会長、仲野関東代表、佐藤渉外部長も出席した。

平成13年学習塾合同忘年会の席で、当塾(いぶき学院)の隣の塾の塾長先生がいらっしゃったので声をかけた。「いぶき学院の鈴木と申します。一緒に地元のために活動しませんか。」これがOKKのきっかけだった。そして、平成14年4月14日に6塾でOKKが発足した。

隣の塾と一緒に活動をすることは、以前から考えていたことだった。少子化でほとんどの塾の塾生数は伸び悩んでいたこと、私が学校教育に疑問を持っていたこと。これらを解決するには、通塾率を上げることだと考えた。少子化でも通塾率が上がればそれを補える。しかも多くの子供達が塾に通ってくれれば、学力も生活面も改善される。それが地元のためにもなると思ったからだ。そのために、隣近所の塾が、塾生の奪い合いをするのではなく、一緒に教育的な活動を行うこと、1塾だけではなく、多くの塾が同様な教育的な情報や提案を発信していくことで地域の教育的意識を変えていこうと考えた。

実は、隣の塾と一緒に活動をするという話を塾団体(私塾ネットかどうか忘れたが)の集まりで発言したことがあった。当時、私は関東代表でもなく、理事長でもなく、ただ思ったことを発言する1会員にすぎなかった。色々発言するのだが、ほとんど取り上げられないどころか相手にされないことも少なくなかった。この隣の塾と一緒という考えも「鈴木先生、何バカなことを言っているんだ。」、「そんなこと出来るわけがない。」と言われた。ならば地元でやってみよう。できることを証明して見せよう。うまくいったら、それを全国に広めていこうと思った。

OKKは木谷朝子理事長(私塾ネット会員)の元、会員塾は出入りを繰り返し5塾だが、会員私学は21校となった。OKKの特徴は、①相談会で



私学と学習塾の先生が一緒になって相談会の準備

は、生徒の奪い合いではなく、その子に合った学校をみんなで考えてあげる。②地元のためになる学習塾、私学を目指して互いに腹を割って話し合う。③今までの塾団体のように、塾の活動に私学が賛助会員として参加するのではなく、私学も塾も同等の会員として、定例会、実行委員会を行い行事を行う。相談会の準備も動員も運営も一緒にやっている。昨年は私学の先生の企画で「大井町から考える会を考える会」という飲み会を行った。

最近、ちょっとしたことで医者通いになる。毎日飲んでいたお酒も1週間に1,2度。もちろん深酒は控えている。ただ、OKKと私塾ネットの懇親会では飲んでしまう。今回のOKKの懇親会では久々に飲みつぶれてしまい、自宅まで車で送ってもらった。写真を見るまで2次会のことは思い出せなかった。次の日、二日酔いではあるが気分がいいのは楽しかったからだろう。みんなでやって、みんなが楽しく、みんな喜んでくれる。そんなOKKだ。

さて、話は変わるが、民主党政権となり今後の教育界がどうなっていくのか、楽しみでもあり不安でもある。我々学習塾は社会に充分認知された存在となった今、次のステップとしては、日本の教育界の中で学習塾が果たす役割を明確にし、我々の考えを日本の教育に反映していくことと考える。大きな目標に向け、学習塾団体が手を携えていくことが必要である。



東洋高校の野間校長が実行委員長としてご挨拶



予想外の来場数にうれしい悲鳴が…

JAC+葉学習塾協同組合&私塾ネット関東 特別研修会開催される

開催日 平成21年12月13日(日)

午後12時30分~午後4時50分

場 所 『船橋グランドホテル』

JR線『船橋駅』より徒歩3分

対象 塾長・専任講師・学年主任レベルの時間講師 テーマ1 「教育コーチングの基本スキルで講師が変わる! 生徒が変わ

る!保護者が変わる!」

講演:仲野十和田先生 (私塾ネット関東代表)

テーマ2 「生徒とともに成長し、保護者から感謝される塾づくり(中級編)」 ~ 成績大幅アップ&退塾者ゼロを生み出す熱きマネージメント~

講演:佐久田昌知先生

(千葉学習塾協同組合副理事長)

日米文化学院 柳田(武村)浩靖

昨年6月に行われ、好評を博した私塾ネット関東とJAC(千 葉学習塾協同組合)との初コラボ企画の拡大研修会。そのあ まりの内容の濃さに、アンコールの声が多数。そして、仲野・ 佐久田両先生のご好意により、今回はJAC主催・私塾ネット 関東協力という形で更にパワー・アップした特別研修会が実 現!年末の忙しい時期にも関わらず、41塾から総勢65名も のご参加!!私塾ネットからも千葉の会員の殆と、東京から 鈴木理事長を始め、5塾8名の方々がお越し下さいました。 本当にありがとうございました。当日の司会進行は前回同様、 関東総務部長・渡辺浩先生と私が務めさせて頂きましたが、 こ人とも会場のあまりの熱気に気圧され、始めの挨拶からボ ロボロ。終了後には二人で反省会を行う始末。その一方で講 師のお二人のお話は流石!回収された52名分のアンケート のうち、実に47名から5段階評価のうちの最高の評価を頂き ました。その講演内容の素晴らしさは・・・、アンケートに書か れたお二人へのコメントを御覧下さい!

●仲野先生へのコメント

- ・以前からコーチングに興味があり、本日お話を伺えることを楽しみにしていました。仲野先生のお話はとてもわかりやすく、おもしろくて、あっというまに時間が経っていました。私もいつか、仲野先生のような対応のできる先生になれるよう、日々、努力をしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・「同意」すること、「聴く」こと等の大切さは、最近本などでよく 目にしていましたが、具体的にどんな行動をとったらよいか、 よくわからなかったり、勘違いをしていることもありました。今日 はよく理解でき、ワークで体感することもできました。教育だけ でなく、普段の生活で実感していきたいと思います。
- ・最近、退塾の電話がありました。その電話を受けたときは「なぜわかってくれないのだろう」と思っていましたが、お母さんのメッセージを受け取っていないのは、自分だったと反省しました
- ・「感情は調整できないが、思考は調整できる」、「Being」が特にためになりました。「承認する」はとても大切な事ですね。再認識することが多々ありました。本日はありがとうございました。

●佐久田先生へのコメント

- ・成績アップ、退塾者ゼロ。生徒のやる気を上げる。全てにおいて子供の将来を考え、子供に対する想いがヒシヒシと伝わってきました。また、子供に対する話の進め方など何度も研修などで学ばせて頂いています。ありがとうございました
- ・ムービーの効果。見せるタイミングも「この時期にはこれ」というように計画されていて、参考になりました。
- ・子供の将来に関わっていく仕事なのだと再認識しました。 いかにモチベーションを高めた状態でいさせるかが大切だ と感じました。映像と音楽の力は速効性があり効果的だと感 じました。子供たちにも普段から自分の生活のことを考えさ せる機会となる良い企画だと思います。
- ・細かい所まで計算された取り組みに脱帽です。何事も先 手、先手で行われているものは、生徒に対する熱い想いと 経験と分析力と…私に足りないものばかりで創られたものだ と思います。私もたくさん勉強して、生徒の将来を少しでも 明るくできる先生になりたいと思います。ありがとうございまし た。

また、研修会終了後には、26名の参加で懇親会を行いました。我々二人がサンタとトナカイに扮してのクイズなどを行い、それなりに皆様には楽しんで頂けたのではないかと思います。完全にアウェーの状況の中、渡辺浩先生のご協力には本当に感謝です!

今後も私塾ネットとJACがこのような形で協力できたら、また素敵な会が出来上がるな、という感触が得られた年末の一日でした。ご参加頂いた皆様、仲野先生・佐久田先生に心より感謝致します。ありがとうございました。



名講演で名高い佐久田JAC副理事長も私塾ネット会員だ



仲野関東代表は「コーチング」をコーチング

「第5回 私塾ネット関東ニューイヤーパーティー」盛大に開催

毎年恒例となりました「私塾ネット関東ニューイ ヤーパーティー」ですが、早いもので、今年で5回 目となりました。第1回から第3回まではお台場の レインボーブリッヂが目の前に見える絶好の場所 で、また昨年は、横浜中華街でベイブリッヂが目の 前に見える絶好の場所で、そして今年は、東京ドー ムホテルの42階で行われました。まだ建設途中の スカイツリー (新東京タワー) と東京タワーが一度 に眺められる、これもまた素晴らしいロケーション の中、年に一度のご家族への感謝の意を込めて始め られました。

開会といえば代表挨拶が行われるのが常ですが、 これが私塾ネット関東ならではと申しましょうか、 仲野代表はビデオを作ってこられ、今までのニュー イヤーパーティーの様子や、昨年亡くなったマイケ ルジャクソンのやられていた事業に触れ、その挨拶 に代えていらっしゃいました。

また、乾杯の発声も宮脇先生のお嬢さんにやって いただくという、これも私塾ネット関東ならではの 幕開けで、大いに盛り上がりました。



「子ども塾長」が乾杯の音頭をとって開会! ゲームですが、

早速第1の出 し物は、「親子 でポン」。こち らはお母様とお 子様数名が壇上 に出ていただ き、お父様に関 する問題が出さ れます。その答 えが一致すれば 大正解という

宮脇家、木谷 家、大住家の中に高橋直子先生(津田沼学院)と彼 女のお母様親子が混じっていて、これはこれで大い に盛り上がりました。続いての出し物は「夫婦でポ ン」。先程の「親子でポン」の夫婦版で、こちらに は仲野夫妻、柳田夫妻、長江夫妻、と私渡辺とその 嫁の四夫婦が出場いたしました。「最初のデートの 場所は?」という質問に柳田夫妻だけが答えられな かったのが印象的でした。

さらに、毎年恒例のビンゴ大会では、平林先生が 1等のPS3を当てられ、大変ご満足そうでいらっ しゃいました。

そうこうしているうちに、会は終盤。ここで私塾 ネット関東の大好きなサプライズイベントがありま した。先生方はすでにご承知だと思いますが、昨 年、谷村志厚先生が還暦を迎えられました。すでに 関東の定例会では簡単にそのご報告とお祝いのプレ ゼントを差し上げたのですが、このニューイヤー パーティーで谷村先生の大好きな曲10曲を歌って8



「夫婦でポン。」の夫グループ。左から長江、渡辺、柳田、仲野さん。

差し上げようということになったのです。この企画 は千葉のマドンナ、高橋直子先生の発案で、それに 賛同した仲野代表と、同じく千葉から柳田先生、そ して私渡辺の4人で歌うこととなりました。事前に 打ち合わせをし、派手な衣装と振り付けで会場は一



病気から快復された奥様同伴で2年ぶりに出席の平林先生ご夫妻





怪しい4人組。左からギターは仲野、ボーカルは柳田、高橋、渡辺さん。 急造バンドながら昭和から平成のヒット曲10曲を熱唱、絶唱・・・爆笑。

気に盛り上がりました。

今回も会が終了した後にたくさんの先生方から「良かったよ!」「毎年趣向が凝ってるね!」「来年はウチも協力するよ。」といったお声をいただきました。本当にありがたいです。来年もまた趣向を凝らし、多くの先生方、そしてご家族の皆様に楽しんでいただけるようなニューイヤーパーティーを企画してまいりたいと思います。

私塾ネット関東総務部長 渡辺塾 渡辺浩





サプライズ演出に「還暦」谷村オヤジも「感激」



鈴木理事長に代わり、かつい夫人が閉会の挨拶。 これも私塾ネット流儀の「家族愛」の形か。

塾主催イベント研究 その③ LAPIS鎌ヶ谷

「LAPIS」と「イベント」

㈱SONRISA (ソンリッサ) 代表 田中 宏道

(SONR I SA=スペイン語で「笑顔」)

「授かった命を人の幸せのために使う人間の育成」これがLAPISのミッションです。 大学で相撲部に所属していました。新入部員がたいへん少ない弱小相撲部です。当然のことながら1年生はとても大切に扱われます。毎晩のように先輩が奢ってくださいました。あるときアルバイト料が手に入り、先輩への日頃のお返しと思い、「今日は僕に奢らせてください。」と申し出ると、先輩曰く「そのお金は後輩に返してやってくれ。僕もたくさんの先輩に奢られてきた。だから今はその先輩たちへのお返しに後輩のめんどうを見ているだけだ。」

今思えば、このことばが今の自分の生き方を方向 付けてくれた貴重なメッセージであった気がしま す。

「幸せ」とは何か。アビトレの木下晴弘先生が教 えてくださいました。

「人の喜びを自分の喜びと感じられる人間は幸せに なる。」と。

その通りだと思います。ですから「授かった命を 人の幸せのために使う人間」を育成するとは、「人 の喜びを自分の喜びと感じられる人間」となっても らうことです。

では、「幸せ」になるにはどのようなトレーニングを積めばよいのか、そして、それを子どもたちにわかりやすく伝えるにはどうしたらよいのでしょうか。

それは多くの方から教えていただきました。「笑顔」「拍手」「感謝」です。笑顔は人を幸せにする最高の薬だと聞きました。笑顔で元気よくあいさつし、人に気持ちよくなってもらう。人の喜びを共に喜べるように笑顔で拍手する。そして、ありがとうと笑顔で感謝する。この3つを行うことで「幸せ」づくりのトレーニングになるのではないかと考えています。「高い目標を持って目の前のことに一生懸命取り組む」なかで、この3つのトレーニングを行えば少しは幸せに近づくのではないかと考えています。

ですから、LAPISでのイベントは全てこの ミッションに基づいて行っています。 まずは 我々スタッフが生徒や親御さまに喜んでいただく。 楽しんでいただく。子どもたちから見れば、こんな 楽しい先輩や大人が世の中にいるんだ!自分もそん な先輩や大人になりたい!と感じてくれるように自 らを鍛えることが必要だと感じています。

以上、イベントをやる目的を踏まえて当塾のイベントを見てくださるとたいへんありがたく存じます。

前置きが長くなりました。自塾でのイベントのいくつかを紹介いたします。

1. 毎日の授業。これが最重要イベント

今日も行きたいと思ってくれる塾。今日も楽しみにしてくれる塾。そのためには毎日の授業が楽しくてわかりやすい必要があります。楽しいとは「笑う」こと。教務スタッフには「授業で必ず笑わせてください。」とお願いしています。実際には自分でもなかなかできませんが…。私の授業の一端は4月25日(日)「全国研修会in八戸(青森)」の中で15分程度の模擬授業をさせていただくことになりました。ご覧くだされば幸いです。

2. 受験についての説明会(中3・4月)

表向きは受験制度の知識を得、準備すべきことを知る会です。しかし本質は、人は何のために生きているのか。それは幸せになるため。幸せになるには何をしたらよいか。それは勉強そのものではない。ということを伝えるためのイベントです。中3全員で笑顔・拍手・感謝の練習を初めて行うイベントです。

このイベントで目標校を高く設定し、1学期の中間・期末テストで周りの人を驚かせるぐらいに飛躍的に得点を上げるための勉強への意欲をかきたてます。

3. 夏期やる気アップ講座(中3・7月)

4月に行った「受験についての説明会」の復習イベントです。中間・期末テストをがんばり、修学旅行や委員会活動、部活動に忙しい中3生は7月ともなると4月に話したことなどほとんど忘れています。また、夏期講習から入校する生徒のためにもう一度モチベーションアップをしておく必要があります。ですからこのイベントは4月とほぼ同じ内容を行います。ちなみに両イベント共にアビトレさんやナカジュクさんが作成された感動ムービーや自作の卒業生ムービーも使用します。

ここまで書いてはたと気づきました。完全な字数オーバーだと。



このほか中3向けには「地域トップ高校文化祭遠足」「夏期合宿」「スクールフェア」「生徒面談」「受験に関する説明会2学期バージョン」「志願理由書、書き方指導」「合格もちつき」「クリスマスお勉強パーティ」「元旦勉強会」「面接練習会」「入試壮行会第1弾・第2弾」「入試応援」「卒業バーベキュー」「スノボースキースクール」などがあります。これらにつきましては、機会があれば紹介させていただきます。今後の課題はイベントの精査と充実、下学年へのイベントです。

見学は大歓迎です。ぜひお越しください。 では、 4月25(日)青森・八戸の全国研修会でお会いしま しょう。



夏期合宿最終日。猪苗代湖に遊ぶ先生と生徒たち。

塾総合展(主催:全国学習塾協同組合)に私塾ネットメンバー大活躍 平成22年1月14日 東京国際フォーラム展示場

塾総合展実行委員長として

副理事長 長江 勝秋

去る1月14日(木)、全国学習塾協同組合(AJC)[森貞孝理事長]主催の塾教育総合展におきまして、今回は実行委員長という大役をおおせつかりました。

ご存知ない方も多いかと思いますが、AJCの役員には副理事長の谷村先生、専務理事の浅輪先生、理事として、玉城、鈴木、磯、松浦、田中、中村(明)の各先生と長江、監事には碇先生が就いており、私塾ネットのメンバーが多数を占めております。実行委員長の役は躊躇していたところ、「一生に一度のことだから」と説得され、やむを得ず引き受けたものでした。

今年は今までと違って平日に開催すること。これが、凶と出るか吉と出るか、予断を許さないものがありました。

問題は二つありました。一つは折からの不景気で、出展業者が集まるかどうか。もう一つは動員です。

出展業者への働きかけは玉城先生を中心に、前回 出展の業者や各実行委員推薦の業者、学校関係も含 めて実行委員の総力を挙げて勧誘に努めましたが、 不況の影響は免れず前回より7業者減と厳しい結果 でした。

動員は正直言って、悲観的でした。従来の日曜日ならば、 $10:30\sim15:30$ 、5時間開催のところ、今回は $10:00\sim14:30$ と30分短縮されたこと。千葉・埼玉など遠方の先生方は帰ってから授業があり、負担が大変であることなどが懸念されました。

ところが蓋を開けてみたら、大盛況!いままでで一番の動員となりました。業者の皆さんも、「日曜出勤の手当ても必要ないし、お客さんも大勢来てくれて、とても良かった。」と言っていただきましたし、塾のある先生からも「この時期日曜も受験対策で授業しており、平日でよかった。」と言われました。

AJCの会計担当者も「ぎりぎり、赤字は免れました。」ということで、大成功でした。

このような大会場での大イベント成功の原因は、 目白に自前の事務所を持ち、そこで毎月開かれる理 事会の運営力、数人の専従職員をはじめ数百人の会 員を擁するAJCの組織の存在があったからだと思い ました。

寒い中、東京国際フォーラムに早朝7時頃から準備のため集まっていただき、動員のため活動していただいた、私塾ネットの仲間の皆さんには、この場をお借りして御礼申し上げます。



長江実行委員長の開会式での挨拶、右へ玉城・伊藤・磯先生

度のお手伝い。村・鈴木)も邪魔にならぬ母私塾ネット三人衆(仲野・公



広ひろば場

このページは会員の皆さんの投稿で作るページです。原稿は編集の谷村 shikot@aim-net.co.jpまで。

平和の重みを訴える

名誉会員(英進学院) 石田治正

近年、今なお世界各地でテロや武力紛争が多発し 罪のない多くの生命が奪われています。今から六十 四年前の広島、長崎では原爆によって一瞬にして尊 い生命が奪われました。

地元の葛飾区は昭和五十八年に「非核平和都市宣 言」を行い、世界で唯一の被爆国として広島・長崎 の惨禍を再び繰り返すことがないよう、さまざま非 核平和関連事業に取り組み世界の恒久平和と核兵器 の廃絶を毎年八月二日の式典で訴えています。しか しこの記憶は風化気味だが、次の世代に平和を受け 継ぐため戦争と平和についてもう一度真剣に学習を していただくために首都圏の公立、私立校を訪問し 講演会を開催しています。

近年、世界には広島型爆弾に換算して約百万発分 のものがあるといわれ、これは人類すべてを殺害す ると報道されています。現在核兵器の保有国の主な 国名は、米、露、英、仏、中国、インド、パキスタ ン、イスラエル、南アフリカ、ブラジル、北朝鮮な どがあり、わが国は「非核三原則」が昭和四十七年 に国の政策となり国民の支持も高いようです。

そこで、私は原爆の悲惨さを伝え各学校が人類は 今なお滅亡の危機にある要旨を小学、中学、高校生 徒諸君に被爆の実相を直視するよう願っています。 今年は被爆者の平均年齢は七十五歳を超えていま

す。これは学校だけでなく私塾団体も率先して集 団講演会を求めて下さい。道徳科の一環として実 践して下さい。

最後に昭和二十年九月二十七日、昭和天皇と マッカーサーの会見が米国大使館で行われたと き、天皇は「平和のために尽くしたい。この機会 に食糧援助をお願いします」。マッカーサーは 「陛下の心はよく理解しています」と返答した。 そして昭和二十一年二月十九日から、二十九年八 月二十三日まで百六十五日全国を巡幸された。こ れは教科書にはありません。今年地元の中学校三 年生対象の講話の中で、ダクラス・マッカーサー 元帥の人物を紹介したら注目され、後日到着した 生徒の感想文に必ず記入され、驚いたと書かれて いました。その時の話に極東軍事裁判でイギリス の代表が天皇を戦犯にする考えを伝えたところ、 マッカーサーは猛反対したとの説明が生徒達の心 を揺さぶったようです。

当時の報道でドイツ大学のオット・ガロン教授 は「天皇が国内を巡幸される。こんなにゆかしい 国は世界でここ日本しかない」と感激したとの説 明でも、生徒の目は私の姿に注目されました。あ る校長は面談の中で「あなたはわが学校に新風を 巻き起こしましたね」と感銘の言葉をもらって満 足しました。

推薦BOOKS

賛助会員の京北学園川合正校長が「男の子 がやる気になる子育て」を出版されました。川合 先生は私塾ネットの応援団として、日頃から身近 にお付き合いをさせていただいている方です。 解き明かします。親としてあるいは塾教師として 必読の一書です。

ご希望の方先着3名 で下記までお申し込み 下さい。

FAX047-368-2189 (AIM・谷村まで)

2009.12.7発行・かんき出版



締切は四月三十日です。

一昨年は京北高校でエリア関東の研修会を行 い、先生に講演をお願いしました。この著書は先 生がこれまで学校の内外で実践されてきた、「親 と教師の学習会」の成果をまとめられたもので す。副題に「一歩、踏み出す力を与えたい」とあ るように、成長期にある子どもたちとのコミュニ ケーションのとり方を、親の目線、教師の視線で

に、編集部より本書を贈 呈します。「川合先生の 本希望」と書いて、FAX

著者:川合正・定価1300円

編集部からお

句

季語で、お一人四句までとします。投稿は 行をお願いします。 またはFAX047-368-2189 次号は5月発刊ですので、春から初夏の 谷村宛

こんもり木炭の火が 雪盛りて り果 ててて やかに £9. 富 灯 火 壬魅 0 ているような雪 椿か せる な 、ヌギ林 0 下 . О 梶 赤い椿でした。 **尼原賢治**

歩くことが惜しまれる柔らかで暖かそう

な校庭。 綺麗な絵のようです。 特麗な絵のようです。 鹿の子に染めて、灰色の都会 雪 0 残闇 谷村酒)

さぞかし の いきに散った山茶花の風景、 散るをよけよと済美特進 貼り紙 衉 歩いてみたくなりま

上 句 会 幕 梶原賢治 回 (私塾ネット副 理 事

誌

涉外部報告 涉外部部長·佐藤勇治

1 「私塾の源流を訪ねて、学習塾百年の歴 史ー私塾団体五十年史」

1、経緯と現状

平成17年(2005)より、企画・準備を進めて参りました、表記の「学習塾百年の歴史」は、社団法人 全国学習塾協会設立20周年記念誌「 絆 きずな 」の編集発行を引き受け、その仕事に忙殺されていた為、一時中断しておりました。

昨年(平成21年)6月、記念誌「絆きずな」の事後 処理がすべて終了し、7月より本書の編集・発刊に向 けて本格的な準備を再開しました。全般的準備も整 い、編集委員会も軌道に乗り、本書の概要が決定致 しますのでお知らせ申し上げます。

また、平成22年1月現在、学習塾の皆様、企業関係者、私立学校の先生方、外部の有識者の方など、約80名の皆様から、本書の発刊について、ご賛同、身に余る励ましのエール、ご支持を頂いております。編集委員一同心から感謝とお礼を申し上げます。

2、本書の体裁と概要

(1) 体裁

◎総頁数:約450頁

◎本扉:カラー水彩画(または油絵)

◎口絵:カラーアルバム

◎上製本:函付き、見返し(朱色)

- (2)編集・発刊〜編集委員会(編集長 佐藤勇治、副編集長 菅谷友豊香)をこれまでに、4回開催致しました。現在、委員は19名。
- (3)費用と発刊~見積り額400万円、編集・発刊の 最終的な責任は、編集長の佐藤勇治にあります。 皆様の個人的なご協力、ご支援をお願い致します。 なお収支決算報告書は1円の単位まで明細書を作成 し、ご報告します。

3、発刊の趣旨

- (1) 江戸時代の中期から明治初年にかけて、全国に多数あった寺子屋は、明治政府による数次に亘る学制改革と時代の変遷により消滅しました。しかし、その足跡は、先人たちの残した史書(私塾、家塾、藩校、寺子屋に関する書籍)によって後世の人たちに伝えられ、その功績は、正確に評価されています。
- (2) 明治、大正、昭和、平成の時代と続いてきた 学習塾百年の歴史も、今後いつまでも続くという保 障はありません。教育制度の改革、時代の変遷と共

に学習塾も、いつかは消滅するでしょう。

(3) わたしたちが、一生の職業として情熱を傾注してきた学習塾の歴史を、当事者である私たちの手で残し、学習塾が日本の教育の一翼を担った時代があったことを、後世の人たちに伝えたいという思いで、「学習塾百年の歴史-私塾団体五十年史ー」を発刊致します。

4、内容の概略

(1) 私塾団体五十年史

(全国の約30~40学習塾団体の歴史と沿革を収録)

- (2) 私塾の源流として寺子屋の歴史と明治以降の 学制改革を検証します。 (渡辺 稔先生)
- (3) 学習塾から私立学校を創設した人たち。ユニークな学習塾塾長からの投稿を収録します。
- (4) 学習塾百年の歴史(島本時習塾三代記とアルバムで綴る学習塾百年)を佐藤と菅谷でまとめます。
- (5) 東南アジア(日本、韓国、台湾、中国)の学習塾の現状と展望(ブリティシュコロンビア大学 准教授 ジュリアン・ディルケス先生)
- (6) 学習塾業界の概要と参考資料

*本書は、ある団体の利益、特別なグループ、学習塾のためではなく、「学習塾」とその周辺の歴史を、出来るだけ広く、正確に残したいという高邁な理想を掲げ編集し、発刊致します。

2 全日本学習塾連絡会議

- 1、第92回 全日本学習塾連絡会議
- (1) 日 時:12月6日(日)/16:20-17:30
- (2)会場:ホテルグランドパレス「九段下」3階 「芙蓉の間」
- (3) 出席者:27名
- (4) 内 容:各団体の行事報告、これからの行事 のご案内
- 2、平成22年度(2010)『教育ネット要覧』≪第10集≫
- (1) 『私塾・私学・企業 教育ネット要覧』10周 年記念誌の発刊
- (2) 発行日: 平成22年6月10日 非売品3000部
- (3)編集者:佐藤勇治
- (4) 内容:学習塾業界最大規模の全国統一名簿 (学習塾65団体の名簿を収録)

3 東京私塾協同組合

- 1、塾団体合同忘年会
- (1) 日 時:2009年12月6日/18:00-20:00
- (2) 会場:ホテルグランドパレス「九段下」3階 「芙蓉の間」
- (3)参加者:私学、企業、学習塾関係者 176名

4 埼玉県私塾協同組合

1、SSK忘年会

(1) 日 時:2009年12月13日(日)/18:00-20:00

(2)会場:大宮市中央デパート5階「徳樹庵」

(3)参加者:私立学校、企業、学習塾関係者54名

5 千葉学習塾協同組合

1、JAC主催、私塾ネット協力 特別研修会

(1) 日 時:2009年12月13日(日)/12:30-16:50

(2) 会 場:船橋グランドホテル

(3) 内容:テーマ1

教育コーチングの基本スキル

講師:仲野十和田先生

テーマ2

成績大幅アップ、退塾者ゼロの塾長がノーハウを 全公開 講師:佐久田昌知先生

6 NPO法人 学習塾全国連合協議会

1、2010年 学習塾合同新年会

(1) 日 時:平成22年(2010)1月10日(日)

17:00-19:00

(2)会場:八重洲富士屋ホテル2階「櫻」

「中学口語文法指導の問題点」

広報部から「教務部」の報告書を提出せよとの依頼があったが、今年度私が平日時間が取れないため、活動停止状態で、報告書を出せる状況にない。で、代わりと言ってはなんだが、私の「思い」を書かせてもらった。

中1教科書の文法指導は「言葉の単位」から入っていて、しかも大きいまとまりの「文章」から入っている。しかし、「文章」を構成しているのは「文」であり、「文」を構成しているのは「単語」である。それぞれ下位の構成要素の知識なくして、上位の理解が得られるのか、というのが私の見解である。「ひとまとまりとなっている全体」とは何か?「ひとまとまり」とは何か?極めて抽象的な表現であって、中1の生徒が本当に理解しているのか疑問である。

で、「単語」であるが、「文節を組み立てているー つ一つのことば」?すると「文節」を理解していな いと「単語」がわからないということになる。

「文節とは、文を発音や意味のうえから不自然にならないように、できるだけ小さくくぎったときの、いちばん小さいまとまり」とある。するとここでもまた「文」の定義を知らないといけないことになる。それに「不自然」とは何か?「できるだけ」とはどの程度を言うのか?定義自体がいい加減である。

したがって、最小単位から入っていくのが本来であろう。私はこれから勉強する日本語全体の構成図、 すなわち「品詞分類表」を板書後、最小単位の「単 語」から指導している。

- (3)参加者:私立学校、企業、学習塾関係者133名
- (4) 内容:木場木遣、和太鼓、 (特別参加)下村博文衆議院議員、 大島九州男参議院議員、秋山 司参議院議員

7 全国学習塾協同組合

1、塾教育総合展

(1) 日 時:平成22年(2010)1月14日(木)

10:00-14:30

(2)会場:東京国際フォーラム展示ホール

(3)参加者:出展企業43社、

特別セミナーは8テーマを実施。

平日にもかかわらず、昨年以上の参加者があった。

8 社団法人 全国学習塾協会

1、学習塾講師検定審査員公開研修会

(1) 日 時:平成22年(2010)1月14日(木)

10:30-14:20

(2)会場:東京国際フォーラム展示ホール

(3) 内容:学習塾講師検定審査員公開研修会

審查員資格認定試験

(4) 参加者:約70名

私塾ネット関東教務部長 加藤 実

○「単語」は日本語の最小単位である。「雨」を 「あ」と「め」に分けることは出来ない。「あ め」で一つの単語なのである。

「単語」は「自立語」と「付属語」の二種類がある。「自立語」は単独で文の成分(主語、述語など)となる「文節」になりうるが、「付属語」は単独では「文節」を構成できない。このことは次に学習する「文節わけ」のときに重要なので、しっかり指導しておく必要がある。

自立語→机 走る 美しい 静かだ 大きな たくさん けれども もしもし

付属語→は が の れる せる

練習 次の文を自立語と付属語とに分類せよ。 赤い大きな花がみごとに咲いた。

解答 赤い(自立語) 大きな(自立語) 花 (自立語) が(付属語) みごとに(自立語) 咲い(自立語) た(付属語)

注 「みごとに」「咲いた」は最初の段階ではわかりにくいが逃げずに挑戦。「咲い」は言い切ると「咲く」、「みごとに」は言い切ると「みごとだ」という自立語であると説明しておく。「詳しくは後で勉強します」でよいと思う。

塾教師たるもの、教科書をそのまま指導するのではなく、独自の指導法を持つべきである。

私塾ネットセンター 事務局通信

冬とはとても思えない気候が続くこの頃ですが、 皆さんはいかがお過ごしでしょうか?

私はAJC(全国学習塾協同組合)が推進する「緊急人材育成支援事業」に参加することになりまして、現在その準備を進めております。これは厚生労働省主管の事業で、失業者に教育訓練を行い就職の援助をするものです。3月23日の開講を目指して急ピッチで用意を進めています。状況は順次ご報告したいと思います。

さて、この事業は昨年から始まっていまして、私はその講師(総務・経理担当)として講座を担当しました。相手は皆大人で年齢も20代から60代と幅広く、最初は若干戸惑いましたが、皆さんいい方で話を聞いていると大変な思いをされている方がいっぱいいるのだなぁと、つくづく実感させられました。

特に家族を支える年代の男性にとっては、大変な 世の中になっています。

ご存知の方も多いと思いますが、現在の私の主たる収入は税理士・公認会計士の下請け業務です。この仕事を始めて10年以上になりますが、以前は担当会社約200社の中で廃業・倒産するのは毎年2~3社程度でしたが、昨年1年だけで10社以上に上り、この部分だけでも職を失った方が100名以上になります。

中には、倒産した会社の社長さんのお嬢さんが大学を1年で退学して安い賃金の職場で働き始めた、 というようなケースもありました。

完全失業率も5%を超えましたが、実際には雇用 調整助成金(会社の経営状況を理由に解雇するはず の人を会社に留めるために、国が会社に支給するも

閑話休題 編集長 谷村志厚

今号は記事が多くて担当欄はこんなに小さくなった。編集担 当者としてはありがたいことではある。さて、新年である。全 国の会員の皆様、各地でそれぞれの新年の迎え方をされた のではなかろうか。そんなことに思いをはせることのできるの も、まがりなりにも全国組織の会に関わる者の冥利である◆ 先日読売新聞の「学力考」と題する特集で学力とは何かの 問いに、数名の知識人が私見を述べておられた。腑に落ち るものがあったので紹介をしておこう◆昭和女子大の坂東真 理子学長はこう述べる。「学力には基礎、応用、創造の三つ のレベルがある。単語を知り漢字が書けるのが基礎。漢字を 使い文章が書けるのが応用で、小説や詩で表現するのが創 造だ」と。なるほどわかりやす論だ。さらにこれを踏まえて、現 在の日本は、土台となる基礎学力が危機的な状況で、全体 を格上げする改革が必要だ。今は、勉強して良かったと思え る仕組みがないと◆向学心という言葉は死語だというのが私 の見解だが、そのことに通じる発言である。首都圏の高校入 試では、今年の埼玉県につづき来年は当県千葉でも、内申 偏重から受験学力重視型の入試制度へ大きく舵を切ること になる。右に振れれば次には左と反復を繰り返すのが世の 常ではある。さて今回の揺り戻しの反動はいかに?

の)のおかげで失業しないで住んでいる人を考えると、すでに失業率は $6\sim7$ %になっているものと思われます。

先日の朝日新聞の一面に「教育費激減」という見 出しの記事が載っていました。いまや家計は子ども の教育費も大幅に削る必要に迫られるほど悪化して いるようです。

大手の塾がダンピングを開始している状況で、一 体塾業界はどうなっていくのか。

今までの大変さを超える我々が体験したことのない状況が発生しそうです。

今年は学習塾業界にとって本当の試練の年になるかもしれませんね。**(センター事務局 石川維雪)**

フォート・ほっとコラム

<輝 それはすべてを明るくする>

我が家から宮島の端から昇る日の出を見ることができます。天気のいいある朝、明けゆく瀬戸の海と日の出に魅せられシャッターを切ってみました。

闇の中に静かにたたずんでいた海や瀬戸の島々が少しずつ明るさを増していく中、朝日が昇り始めました。するとにわかにそれらに生命が吹き込まれたかのように生き生きと輝き始め、一日が始まりました。

新しい年明です。皆様今年もよろしくお願いいたします。 今年はこの業界も他の企業同様、厳しい試練が待ち受ける年となりそうですが、くれぐれも先行きを憂いて暗く沈まないでください。

塾にはどんな時代も乗り切ってきた歴史があります。これまで培ってきた教育への自信と人のためになる仕事に携わっているという確信があります。希望を持って自分自身輝き、創意工夫して自分の器と時代にあった解決法を見つけいってください。輝くことできっと新たなる発展の道が見えてくるはずです。

「輝」 それは厳しさを乗り切るエネルギーの源 なのかな。 (文&写真:城忠道・エリア中国・芸城学院)



賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校

東京都渋谷区本町3-2-2

江戸川学園取手中学高等学校

茨城県取手市西1-37-1

十文字中学高等学校

東京都豊島区北大塚1-10-33

東洋高等学校

東京都千代田区三崎町1-4-16

桜丘中学高等学校

東京都北区滝野川1-51-12

聖徳大学附属中高等学校

千葉県松戸市秋山600

麹町学園女子中高等学校

東京都千代田区麹町3-8

春日部共栄中学

埼玉県春日部市上大増新田213

大成高等学校

東京都三鷹市上連雀6-7-5

東京学園高等学校

東京都目黒区下目黒6-12-25

東京立正中学高等学校

東京都杉並区堀ノ内2-41-15

八雲学園中学高等学校

東京都目黒区八雲 2-14-1

関東第一高等学校

東京都江戸川区松島2-10-11

武蔵野中学高等学校

東京都北区西ヶ原4-56-20

神田女学園中学高等学校

東京都千代田区猿楽町2-3-6

和洋国府台女子中学高等学校

千葉県市川市国分4-20-1

東京文化中学高等学校

東京都中野区本町6-38-1

文京学院大学女子中学高等学校 嶋田 栄司先生

東京都文京区本駒込6-18-3

京北学園中学高等学校

東京都文京区白山5-28-25

大森学園高等学校

東京都大田区大森3-2-12

東京成徳大学中学高等学校

東京都北区豊島8-26-9

日本工業大学駒場中学高等学校

東京都目黒区駒場1-35-32

青稜中学高等学校

東京都品川区二葉1-6-6

村山サンドラー先生

Tel 03-3376-2244

竹澤 賢司先生

Tel 0297-74-8771

夘木 幸男先生

Tel 03-3918-0511

野間 一夫先生

Tel 03-3291-3824

品田 健 先生

Tel 03-3910-6161

川並 芳純先生

Tel047-392-8111

大野 博人先生

Tel 03-3263-3014

宇野 禎弘先生

Tel 048-737-7611

保 先生

Tel 0422-43-3196

須藤 勉 先生

TEL03-3711-6641

藤井 教戒先生

Tel 03-3312-1111

横山 孝治先生

Tel 03-3717-1196

副田 康孝先生

Tel 03-3653-1541

丹野 秀彦先生

Tel 03-3910-0151

齋藤 元治先生

Tel 03-3291-2447

太田陽太郎先生

TEL047-371-1120

上前 善勝先生

Tel 03-3381-0196

Tel 03-3946-5301

実方 隆志先生

Tel 03-3941-6253

河嶋 正 先生

Tel 03-3762-7336

增澤 文徳先生

Tel 03-3911-2786

河村 文夫先生

Tel 03-3467-2130

笠松 芳幸先生

Tel 03-3782-1502

東京女子学園

東京都港区芝4-1-30

駒込中学高等学校

東京都文京区千駄木5-6-25

愛国中学高等学校

東京都江戸川区西小岩5-7-1

日本橋女学館中学高等学校

東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6

安田学園中学高等学校

東京都墨田区横綱2-2-25

多摩大学目黒中学高等学校

東京都目黒区下目黒4-10-24

科学技術学園高等学校

東京都世田谷区成城1-11-1

日本音楽高等学校

東京都品川区豊町2-16-12

立正中学高等学校

東京都品川区大崎4-2-16

上野学園中学高等学校

東京都台東区東上野4-24-12

二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

村田女子高等学校

村田学園小石川女子中学校

東京都文京区本駒込2-29-1

自由学園(中等部・高等部) 東京都東久留米市学園町1-8-15

帝京中学高等学校

東京都板橋区稲荷台27-1

京華学園

東京都文京区白山5-6-5

千代田女学園

東京都千代田区四番町11

日出中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

目黒学院中学校

東京都目黒区中目黒1-1-50

共栄学園中学高等学校

東京都お花茶屋2-6-1

仙台育英学園高等学校

宮城県仙台市宮城野区宮城野2-4-11年022-293-1125

北海道芸術高等学校

東京都豊島区池袋2-78-10

(株)創開コミュニティー

千葉県柏市柏2-7-22-202

ギガビジョン株式会社 東京都千代田区九段北1-4-5

ドラゴンフィールド㈱

東京都千代田区神田錦町3-23

実吉 幹夫先生 Tel 03-3451-6523

河合 孝允先生 Tel 03-3828-4141

高橋 英夫先生

Tel 03-3658-4111

羽田野 敦先生

Tel 03-3662-2507

福谷 隆芳先生

Tel 03-3624-2666

福本 明男先生

Tel 03-3714-2661

船津 和良先生

Tel 03-5494-7711

中野 道代先生

Tel 03-3786-1711

今田 正利先生 Tel 03-3492-4416

高橋公美子先生 Tel 03-3842-1021

舘野 宏 先生 Tel 03-3261-9288

武 雅祐先生

Tel 03-5940-4187

椚田 結子先生

Tel 042-422-3111

奥野 英治先生 Tel03-3963-4711

今野 巌 先生

Tel 03-3941-6493

菅原 俊軌先生

Tel 03-3263-6551

寺本 郁夫先生

Tel 03-3492-3388

Tel 03-3711-6556

高山 松三先生

伊藤 裕先生

Tel 03-3601-7136 相良 信恵先生

鈴木 康弘先生

Tel 03-5979-9095 小林 和光様

TeL04-7164-6511

櫻井 淳二様

Tel 03-3237-5861

和田 功様 Tel 03-5282-3174